

2023年6月1日

一般社団法人医療の質・安全学会
代議員 各位

一般社団法人医療の質・安全学会
理事長 松村由美

2023年度定時社員総会のご案内

例年、代議員の皆様には法人の社員として、定期社員総会にご参加いただいておりますが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染蔓延防止のため、皆様にお集まりいただくことは避け、Web会議で開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

同封の「出欠届」にご記入の上、6月14日（水）までに当学会事務局（FAX：03-5803-7829）へご返信下さい。ご欠席の場合は、「委任状」のご記入もお願いいたします。

※Web会議のZoomアクセスURLは学会に登録しているメールアドレスに送付いたします。

記

日 時：2023年6月16日（金）15時より

場 所：医療の質・安全学会 事務局

東京都文京区本郷2-29-1 渡辺ビル201

※代議員（社員）の出席はZoomを利用したWeb参加とする。

議 題：

【議決事項】

議決事項1：2022年度事業報告及び決算報告

議決事項2：役員選任 理事25名（選挙17名、指名8名）、監事2名

【報告事項】

報告事項1 2023年度事業計画及び収支予算

報告事項2 第18回学術集会大会長挨拶（辰巳陽一大会長）

以上

2023 年度

定時社員総会開催のお知らせ

Zoomを使用した社員総会の開催について

2023年度定時社員総会ではWeb会議サービス「Zoom」を利用したオンライン形式で開催いたします。以下に出席者のための注意事項を記載いたします。

※運営管理の観点から会議中は録画させていただきますのであらかじめご了承ください。

- ① 社員総会の Zoom アクセス URL は学会に登録しているメールアドレスに送付いたします。
※メールアドレスは 5月31日正午現在登録されているものとします。
※社員総会 URL は 3 日前にお知らせいたします。
- ② 会議当日は URL をクリックしてメインルームへご入室ください。
- ③ 入室後に事務局にて本人確認を行いますので、Zoom クライアントの表示氏名は必ずご自身の氏名でご参加ください。

※本人氏名で参加していない方はメインルームで本人氏名に変更してください。

【重要】

代議員(社員)としての氏名が確認出来ない方は社員総会 Room へ入室することができません。必ず本人氏名でご参加ください。

- ④ 順番に社員総会 Room へご案内しますので、メインルームでそのままお待ちください。
- ⑤ 社員総会 Room へ入室後、参加中はマイクをミュート状態にしてください。
- ⑥ 社員総会中は常時「ビデオ開始」状態とし、本人確認ができる状態としてください。
- ⑦ 発言する場合は、氏名をお名乗りください。

以上

一般社団法人医療の質・安全学会

2023 年度定時社員総会資料

議決事項

議決事項 1 : 2022 年度事業報告及び決算報告

事業報告 P1-3

決算報告 P4-11

議決事項 2 : 役員を選任 P12

(別冊：役員候補者略歴)

報告事項

報告事項 1 : 2023 年度事業計画及び収支予算

事業計画 P13-15

収支予算 P16-17

医療の質・安全学会 2022 年度事業報告書

総務委員会

主担当理事 水本 一弘

【はじめに】

当学会は、広く英知を結集して医療の質・安全の向上に資する科学的、実践的な研究を推進し、国内外における研究成果の交流・普及を促進することを通じて、医療の質・安全に関する学術基盤の確立と発展に寄与し、もって患者本位の質と安全を提供する新しい医療システムのあり方を実現することを目的として活動している（定款第3条）。

2022 年度は、2021 年度までの事業を継承し、引き続き COVID-19 の感染拡大防止のため、活動方法を模索しつつ、法人事業として適切な予算管理の下、以下の内容を実施したので、ここに報告する。

【事業報告】

（1）学術集会の開催

第 17 回学術集会は、寺井美峰子大会長（公益財団法人 田附興風会 医学研究所北野病院 看護部長）の下、2022 年 11 月 26 日（土）27 日（日）の 2 日間、「現場から生まれる医療の質・安全の知～改善と変革につなげるために～」をテーマとして、COVID-19 の感染予防対策を考慮しつつ、神戸国際展示場・国際会議場で開催した。2 年ぶりの会場開催となった今大会では、参加者は 2,370 名となり前年度を上回る参加者を確保することができた。また参加者にニーズが高いと考え、大会後は 2022 年 12 月 5 日（月）から 2023 年 1 月 10 日（火）までオンデマンド配信を行った。学術集会では医療の質・安全の向上に資する優れた研究や活動を奨励し、「ベストプラクティス賞」、「安全を支える技術展」ならびに「上原鳴夫記念研究奨励賞」を表彰した。

第 18 回学術集会（2023 年度）は、辰巳陽一大会長（近畿大学病院 安全管理部 教授）の下、2023 年 11 月 25 日（土）26 日（日）の 2 日間、「世界はチームでできている～多様性の森へようこそ～」をテーマとして、神戸国際展示場・国際会議場で開催が予定されている。

（2）学術雑誌の刊行

学術誌編集委員会が主体となって、学会誌「医療の質・安全学会誌」を年 4 回、学術集会抄録号を年 1 回発行した。また既刊の第 15 巻、第 16 巻、第 17 巻に掲載の論文を J-Stage（科学技術情報発信・流通総合システム）に掲載した。

(3) 医療の質・安全に係る研究の奨励

学術委員会が主体となって、「上原鳴夫記念研究奨励賞」の該当論文の審査を行った。2022年度は若手奨励賞の表彰を第17回学術集会において行った。

(4) 医療の質・安全にかかる関連学術分野の連携の促進

一般社団法人医療安全全国共同行動の理事団体として、医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”の設立趣旨に沿ってその活動を積極的に推進した。

医療事故調査等関連委員会が主体となって、要請に応じて医療事故調査・支援センター個別調査部会や医療機関が行う院内調査に派遣する委員の推薦を行った。

(5) 医療の質・安全の向上に資する教育・研修の推進と普及

教育委員会が主体となって、医療安全管理者養成研修ならびに継続学習を計画、開催した。医療安全管理者養成研修会については、COVID-19の感染状況の推移を踏まえ、オンデマンド配信とライブ配信を組み合わせることで、受講者にとってより有効な研修となるよう工夫を凝らして開催した。

医療安全支援センター総合支援事業推進委員会が主体となって、全国の医療安全支援センターや相談窓口の職員への研修を実施した。2022年度もCOVID-19の感染拡大防止のため、継続して実施している初任者研修、実践研修、全国協議会、スキルアップ研修といった全ての研修会をWeb形式での開催とした。

患者・市民参画推進委員会が主体となって、患者経験価値（Patient Experience: PX）をテーマとしたセミナー、これからの医療に不可欠な患者経験価値（PX）を学ぶ～患者中心の医療の実現に向けて～を開催した。

(6) 医療の質・安全に関する国際交流の推進

国際委員会が主体となり、WHO世界患者安全の日2022年度のテーマである「Medication Safety」に関連した学びの場として、薬剤安全推進シンポジウム みんなでつなごう！安全なお薬使用のバトンパス～Medication Reconciliation を活用しましょう～を開催した。

(7) 医療の質・安全の向上に資する指針および提言の策定

医療安全管理者ネットワーク委員会が主体となって、医療安全管理者ネットワーク会議を年2回開催した。2022年度もWeb形式での開催となった。

医療システム検討委員会が主体となって、「医療安全に資する医療情報システム検討WG」の活動を継続し、病院情報システムにより効果的に防止できる医療安全上の課題や課題解決にむけて検討した。

(8) その他、本学会の目的を達成するために必要な事業

当学会の事業計画を達成して会員に還元するために、財務委員会が主体となって適正な予算管理を行った。収入予算の基礎となる学会会員数は3,000名以上を維持した。

当学会の下記常設委員会は、本学会の目的を達成するために、それぞれの活動計画に基づき前述の内容を含め事業を遂行した。

総務委員会、財務委員会、広報委員会、患者・市民参画推進委員会、医療安全支援センター総合支援事業推進委員会、教育委員会、医療安全管理者ネットワーク委員会、学術委員会、学会誌編集委員会、国際委員会、医薬品・医療機器・放射線安全委員会、医療システム検討委員会、施設環境委員会、医療事故調査等関連委員会、医療の質・安全調査倫理審査委員会

以上

収支計算書

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

一般社団法人 医療の質・安全学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 事業活動収入				
会費収入	28,152,320	28,633,000	△ 480,680	進捗率102%
正会員web	16,000,000	14,920,000	1,080,000	進捗率93%
正会員冊子	9,600,000	9,640,000	△ 40,000	進捗率100%
賛助会員(企業・団体)	1,470,000	1,850,000	△ 380,000	進捗率126%
賛助会員(個人)	82,320	48,000	34,320	進捗率58%
前期以前正会員会費	1,000,000	2,175,000	△ 1,175,000	進捗率218%
事業収入	101,407,000	88,300,948	13,106,052	
学会誌事業収入	916,000	816,048	99,952	
学会誌年間購読費	840,000	739,000	101,000	定期購読1年契約53件
学会誌バックナンバー販売	60,000	77,048	△ 17,048	学会誌21冊、抄録集3冊
別刷販売	16,000	0	16,000	
学術集会事業収入	60,000,000	59,202,500	797,500	
参加費	37,000,000	32,789,500	4,210,500	会員・賛助会員1171、非会員・学生会員1199名、抄録集534冊
広告関係費	1,500,000	1,067,000	433,000	抄録集広告7社、ハナー広告2社
教育セミナー	15,000,000	13,860,000	1,140,000	10社
寄付金・助成金	2,000,000	1,300,000	700,000	神戸市観光局
商業展示出展費	4,500,000	10,186,000	△ 5,686,000	25社
研修会講習会事業収入	40,491,000	28,282,400	12,208,600	
医療安全支援センター総合支援事業	22,000,000	16,931,000	5,069,000	2022年度医療安全支援センター総合支援事業補助金
医療安全管理者養成研修会	9,691,000	9,933,000	△ 242,000	参加113名(会員38名、非会員75名)
医療安全管理者養成研修-継続学習	2,500,000	490,600	2,009,400	参加89名(会員81名、非会員8名)
ネットワーク会議	1,300,000	723,900	576,200	参加119名(会員98名、非会員21名)
放射線セミナー	600,000	0	600,000	開催なし
世界患者安全の日	400,000	0	400,000	参加費無料
新規事業	4,000,000	204,000	3,796,000	PCセミナー参加68名
雑収入	20,000	70,252	△ 50,252	
DVD販売	15,000	18,000	△ 3,000	DVD販売12枚
雑収入	5,000	52,252	△ 47,252	許諾抄録利用料、利息他
事業活動収入計	129,579,320	117,004,200	12,575,120	
2. 事業活動支出				
事業費	98,360,000	81,540,353	16,819,647	
学会誌事業	6,500,000	6,340,804	159,196	
学会誌製作費	4,500,000	4,250,400	249,600	学会誌Vol.17-2~4、18-1作成費、別刷作成費
学会誌発送費	700,000	990,404	△ 290,404	学会誌Vol.17-2~4、18-1送料
原稿料	120,000	0	120,000	
JStage用データ作成費	1,180,000	1,100,000	80,000	J-STAGEサイト論文掲載 第15巻~第17巻
学術集会事業	60,970,000	61,185,368	△ 215,368	
学術集会運営経費	60,000,000	61,185,368	△ 1,185,368	第17回学術集会会場費、運営費、謝金、表彰酒、旅費等
若手研究者奨励賞	400,000	0	400,000	運営経費で賞金100,000円(1名)を計上
ベストプラクティス賞	500,000	0	500,000	運営経費で賞金230,000円(4名)を計上
安全を支える技術展	70,000	0	70,000	
研修会講習会事業	30,890,000	14,014,181	16,875,819	
医療安全支援センター総合支援事業	16,500,000	5,517,564	10,982,436	研修会運営費、講師謝金、運営調査関係費
医療安全管理者養成研修会	5,000,000	5,325,967	△ 325,967	運営費、テキスト代、講師謝金・日当、受講証発行費等
医療安全管理者養成研修-継続学習	2,500,000	488,523	2,011,477	
ネットワーク会議	450,000	602,900	△ 152,900	施設利用料、謝金・日当
放射線セミナー	140,000	0	140,000	開催せず
世界患者安全の日	2,300,000	1,197,366	1,102,634	第50回シンポジウム運営費、印刷・字入れ、謝金(海外含む)
新規事業	4,000,000	881,861	3,118,139	PCセミナー運営費、講師謝金他
委員会活動事業	5,856,800	384,173	5,472,627	
総務委員会	452,160	67,734	384,426	旅費
広報委員会	150,000	0	150,000	
学術委員会	100,000	0	100,000	
学会誌編集委員会	100,000	111,370	△ 11,370	学術集会 委員会企画非会員講師謝金
医療事故調査等関連委員会	300,000	344	299,656	郵送料
国際委員会	150,000	0	150,000	
医薬品・医療機器・放射線安全委員会	50,000	47,577	2,423	学術集会 委員会企画非会員講師謝金
医療情報システム検討委員会	140,000	68,708	71,292	共同企画 講師謝金(日本医療情報学会)
教育委員会	2,300,000	44,220	2,255,780	委員会ZOOM利用料他
医療安全管理者ネットワーク委員会	200,000	44,220	155,780	委員会ZOOM利用料他
患者参画推進委員会	1,000,000	0	1,000,000	
医療安全支援センター総合支援事業推進委員会	100,000	0	100,000	
施設環境委員会	514,640	0	514,640	
選挙管理委員会	300,000	0	300,000	
WG活動経費	200,000	0	200,000	
ワーキンググループ活動	200,000	0	200,000	
ホームページ管理費	500,000	751,022	△ 251,022	HP管理費、会員管理システム利用料
医療安全全国共同行動事業協力費	500,000	500,000	0	2022年度正会員費
管理費支出	30,459,000	26,997,257	3,461,743	
給与手当	15,100,000	15,537,974	△ 437,974	職員給与・アルバイト代4-3月分
法定福利費	1,500,000	2,262,352	△ 762,352	健康保険料・厚生年金保険料等学会負担分4-3月分
事務所賃借料	2,410,000	2,163,020	246,980	実費4-3月分
水道光熱費	240,000	236,176	3,824	電気代4-3月分、水道料金4-3月分
通信運搬費	586,000	856,927	△ 270,927	電話代、郵送料、会員証込票発送代他
旅費交通費	1,000,000	113,334	886,666	打合せ旅費等
会議費	1,000,000	534	999,466	茶菓代
備品消耗品費	150,000	220,151	△ 70,151	事務用品備品代(会計ソフト、学会封筒制作代他)
事務機器リース料	189,000	162,600	26,400	複合機リース料4-3月分
印刷費	84,000	120,967	△ 36,967	オンラインストレージ利用料、複合機カウンター料金4-3月分
会費カード決済手数料	0	11,132		
業務委託費	2,800,000	2,497,513	302,487	学会支援機構 会員管理委託費
顧問料	1,500,000	1,059,300	440,700	会計士、税理士、社労士顧問料
租税公課	3,500,000	1,470,150	2,029,850	消費税、法人税
雑費	400,000	285,127	114,873	ZOOM利用料、ネットバンク利用料、事務員健診補助、手数料等
学術集会運営基金繰入支出	0	4,000,000	△ 4,000,000	
事業活動支出計	135,875,800	114,172,805	21,702,995	
当期収支差額	△ 5,296,480	2,831,395	△ 9,127,875	
前期繰越収支差額	106,009,633	106,009,633	0	
次期繰越収支差額	99,713,153	108,841,028	△ 9,127,875	

正味財産増減計算書

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

一般社団法人 医療の質・安全学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	28,633,000	27,693,000	940,000
正会員web	14,920,000	14,250,000	670,000
正会員冊子	9,640,000	9,683,000	△ 43,000
賛助会員(企業・団体)	1,850,000	1,700,000	150,000
賛助会員(個人)	48,000	72,000	△ 24,000
前期以前正会員会費	2,175,000	1,988,000	187,000
事業収入	88,300,948	71,327,758	16,973,190
学会誌事業収入	816,048	810,578	5,470
学会誌年間購読費	739,000	756,000	△ 17,000
学会誌バックナンバー販売	77,048	45,778	31,270
別刷販売	0	8,800	△ 8,800
学術集会事業収入	59,202,500	37,298,580	21,903,920
参加費	32,789,500	22,879,000	9,910,500
懇親会	0	67,000	△ 67,000
広告関係費	1,067,000	1,632,500	△ 565,500
企業展示	0	2,970,000	△ 2,970,000
教育セミナー	13,860,000	9,750,000	4,110,000
寄付金・助成金	1,300,000	0	1,300,000
商業展示出展費	10,186,000	0	10,186,000
雑収入	0	80	△ 80
抄録集販売	0	0	0
研修会講習会事業収入	28,282,400	33,218,600	△ 4,936,200
医療安全支援センター総合支援事業	16,931,000	17,790,000	△ 859,000
医療安全管理者養成研修会	9,933,000	10,791,000	△ 858,000
医療安全管理者養成研修-継続学習	490,600	774,400	△ 283,800
ネットワーク会議	723,800	1,843,160	△ 1,119,360
放射線セミナー	0	0	0
世界患者安全の日	0	2,020,040	△ 2,020,040
新規事業	204,000	0	204,000
雑収入	70,252	1,639,570	△ 1,569,318
DVD販売	18,000	30,000	△ 12,000
雑収入	52,252	1,609,570	△ 1,557,318
経常収益計	117,004,200	100,660,328	16,343,872
(2) 経常費用			0
事業費	92,953,789	58,389,298	34,564,491
学会誌事業	6,340,804	5,776,590	564,214
学会誌製作費	4,250,400	4,606,580	△ 356,180
学会誌発送費	990,404	906,010	84,394
Jstage用データ作成費	1,100,000	264,000	836,000
学術集会事業	61,185,368	23,275,146	37,910,222
学術集会運営経費	61,185,368	23,275,146	37,910,222
研修会講習会事業	25,427,617	29,337,562	△ 3,909,945
医療安全支援センター総合支援事業	16,931,000	17,790,181	△ 859,181
医療安全管理者養成研修会	5,325,967	8,334,621	△ 3,008,654
医療安全管理者養成研修-継続学習	488,523	476,602	11,921
ネットワーク会議	602,900	900,068	△ 297,168
放射線セミナー	0	0	0
世界患者安全の日	1,197,366	1,836,090	△ 638,724
新規事業	881,861	0	881,861
委員会活動事業	384,173	228,868	155,305
総務委員会	67,734	0	67,734
広報委員会	0	0	0
学術委員会	0	0	0
学会誌編集委員会	111,370	0	111,370
医療事故調査等関連委員会	344	0	344
国際委員会	0	0	0
医薬品・医療機器・放射線安全委員会	47,577	228,868	△ 181,291
医療情報システム検討委員会	68,708	0	68,708
教育委員会	44,220	0	44,220
医療安全管理者ネットワーク委員会	44,220	0	44,220
患者参画推進委員会	0	0	0
医療安全支援センター総合支援事業推進委員会	0	0	0
施設環境委員会	0	0	0

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
選挙管理委員会	0	0	0
WG活動経費	0	0	0
ワーキンググループ活動	0	0	0
ホームページ管理費	685,022	1,488,771	△ 803,749
医療安全全国共同行動事業協力費	500,000	500,000	0
管理費	15,649,821	15,295,703	354,118
給与手当	6,978,132	5,143,677	1,834,455
法定福利費	934,585	669,701	264,884
事務所賃借料	1,415,825	1,909,469	△ 493,644
水道光熱費	236,176	194,856	41,320
通信運搬費	771,189	982,390	△ 211,201
旅費交通費	113,334	4,924	108,410
会議費	534	0	534
備品消耗品費	51,556	336,837	△ 285,281
事務機器リース料	151,202	194,400	△ 43,198
印刷費	68,171	85,743	△ 17,572
会費カード決済手数料	11,132		11,132
業務委託費	2,471,113	3,003,801	△ 532,688
顧問料	734,264	625,012	109,252
租税公課	1,470,150	1,771,500	△ 301,350
雑費	242,458	373,393	△ 130,935
保管料	0	0	0
経常費用計	110,172,805	75,902,640	34,270,165
評価損益等調整前当期経常増減額	6,831,395	24,757,688	△ 17,926,293
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	6,831,395	24,757,688	△ 17,926,293
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,831,395	24,757,688	△ 17,926,293
一般正味財産期首残高	132,009,633	107,251,945	24,757,688
一般正味財産期末残高	138,841,028	132,009,633	6,831,395
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	138,841,028	132,009,633	6,831,395

貸借対照表

2023年 3月31日現在

一般社団法人 医療の質・安全学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	95,797,402	96,879,600	△ 1,082,198
未収金	18,276,559	17,890,123	386,436
前払費用	1,064,850	857,170	207,680
流動資産合計	115,138,811	115,626,893	△ 488,082
2. 固定資産			
特定資産			
学術集会運営基金	30,000,000	26,000,000	4,000,000
特定資産合計	30,000,000	26,000,000	4,000,000
固定資産合計	30,000,000	26,000,000	4,000,000
資産合計	145,138,811	141,626,893	3,511,918
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,098,484	5,532,735	△ 1,434,251
前受金	1,320,000	2,079,000	△ 759,000
前受会費	124,000	111,000	13,000
預り金	85,299	91,925	△ 6,626
仮受金	0	32,600	△ 32,600
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	600,000	1,700,000	△ 1,100,000
流動負債合計	6,297,783	9,617,260	△ 3,319,477
負債合計	6,297,783	9,617,260	△ 3,319,477
III 正味財産の部			
一般正味財産	138,841,028	132,009,633	6,831,395
(うち特定資産への充当額)	(30,000,000)	(26,000,000)	(4,000,000)
正味財産合計	138,841,028	132,009,633	6,831,395
負債及び正味財産合計	145,138,811	141,626,893	3,511,918

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲は、流動資産および流動負債である。

2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	96,879,600	95,797,402
未収金	17,890,123	18,276,559
前払費用	857,170	1,064,850
合計	115,626,893	115,138,811
未払金	5,532,735	4,098,484
前受金	2,079,000	1,320,000
前受会費	111,000	124,000
預り金	91,925	85,299
仮受金	32,600	0
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	1,700,000	600,000
合計	9,617,260	6,297,783
次期繰越収支差額	106,009,633	108,841,028

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

1. 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
学術集会運営基金	26,000,000	4,000,000	0	30,000,000
合計	26,000,000	4,000,000	0	30,000,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
学術集会運営基金	30,000,000	0	30,000,000	0
合計	30,000,000	0	30,000,000	0

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。 (単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
医療施設運営費等補助金	厚生労働省	0	16,931,000	16,931,000	0	
国内会議等補助金	神戸市観光局		1,300,000	1,300,000		
合計		0	18,231,000	18,231,000	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)に定める附属明細書の記載上の留意点に従い、財務諸表の注記2および3に記載しているので、内容の記載を省略している。

以上

財産目録

2023年 3月31日現在

一般社団法人 医療の質・安全学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	金 額
(流動資産)	預金	郵便振替	95,797,402
		普通預金	60,299,302
		三菱UFJ銀行/本郷支店	1,320,000
		三菱UFJ銀行/本郷支店	0
		三菱UFJ銀行/本郷支店	24,176,744
		三菱UFJ銀行/本郷支店	0
		三菱UFJ銀行/本郷支店	0
		定期預金	
		三菱UFJ銀行/本郷支店	10,001,356
		未収金	
	厚生労働省/2022年度補助金	16,931,000	
	その他	1,345,559	
前払費用		1,064,850	
	会員管理システム利用料他	1,064,850	
流動資産合計			115,138,811
(固定資産)	特定資産		
		学術集会運営基金	30,000,000
		(定)三菱UFJ銀行 /本郷支店	30,000,000
固定資産合計			30,000,000
資産合計			145,138,811
(流動負債)	未払金	委託費他	4,098,484
	前受金	第18回学術集会協賛費	1,320,000
	前受会費	2023年度以降会費	124,000
	預り金	源泉所得税	85,299
	未払法人税等	期末納付見込額	70,000
	未払消費税等	期末納付見込額	600,000
流動負債合計			6,297,783
負債合計			6,297,783
正味財産			138,841,028

監査報告書

一般社団法人医療の質・安全学会
理事長 松村 由美 殿

2023年5月22日

馬目公認会計士事務所

公認会計士

馬目利昭



1. 監査の方法と概要

私は、一般社団法人医療の質・安全学会の2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の財務諸表等、すなわち、収支計算書、損益計算書（正味財産増減計算書）、貸借対照表及び財産目録についての監査を行いました。

監査に当たって、私は、試査を基礎とし、通帳、請求書、領収書等の関係証憑と会計帳簿間の照合、及び財務諸表等が適正に作成されているか検討を行いました。

2. 監査意見

監査の結果、私は、上記の財務諸表等が、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、一般社団法人医療の質・安全学会の2022年度末日現在の財政状態、同事業年度の正味財産増減及び収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監査報告書

一般社団法人医療の質・安全学会
理事長 松村 由美 殿

2023年5月23日

監事

七尾 守



監事

保田 知生



私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度における会計及び業務監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会およびその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手順を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表および財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支および財政の状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は事実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

議決事項2 役員選任 理事25名（選挙17名、指名8名）、監事2名

選挙理事【17名】			
	姓	名	所属
1	安宅	一晃	奈良県総合医療センター 救命救急センター
2	綾部	貴典	宮崎大学医学部附属病院 医療安全管理部
3	鮎澤	純子	九州大学大学院 ARO次世代医療センター
4	大石	雅子	滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科
5	菊地	龍明	横浜市立大学附属病院 医療の質・安全管理部
6	北村	温美	大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
7	荒神	裕之	山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部
8	小松	康宏	板橋中央総合病院
9	鈴木	明	浜松医科大学医学部附属病院 医療安全管理室
10	滝沢	牧子	埼玉医科大学総合医療センター 医療安全管理学
11	飛田	伊都子	大阪医科薬科大学 看護学部
12	中村	京太	横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部
13	原田	賢治	東京農工大学 保健管理センター
14	松村	泰志	大阪医療センター
15	水本	一弘	和歌山県立医科大学附属病院
16	宮崎	浩彰	関西医科大学 医療安全管理センター
17	和佐	勝史	滋慶医療科学大学大学院
指名理事【8名】			
	姓	名	所属
1	遠田	光子	公益社団法人日本医療機能評価機構
2	土屋	守克	日本医療科学大学 保健医療学部看護学科
3	轟	浩美	特定非営利活動法人希望の会
4	中島	和江	大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
5	舟越	亮寛	医療法人鉄薫会亀田総合病院 薬剤管理部
6	本田	靖雅	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院
7	棟近	雅彦	早稲田大学理工学術院
8	安井	はるみ	セコム医療システム株式会社
監事【2名】			
	姓	名	所属
1	大磯	義一郎	浜松医科大学 医学部法学教室
2	松村	由美	京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

【はじめに】

当学会は、広く英知を結集して医療の質・安全の向上に資する科学的、実践的な研究を推進し、国内外における研究成果の交流・普及を促進することを通じて、医療の質・安全に関する学術基盤の確立と発展に寄与し、もって患者本位の質と安全を提供する新しい医療システムのあり方を実現することを目的として活動している（定款第3条）。

役員改選に伴い、2023 年度は、新しい理事会の下で当学会の事業を計画、実施していくが、継続性が求められるものに関しては、2022 年度までの内容を継承する必要がある。

本学会の事業は、全て法人事業として適切な予算管理の下、計画、実施する。

なお、この事業計画は、本学会所管の事業を全て網羅したものではなく、各委員会が実施する事業を制限するものではない。

【事業計画】 定款第4条に沿って提示する。

(1) 学術集会の開催

- ・ 第18回学術集会は、2023年11月25日（土）26日（日）の2日間、神戸国際展示場/会議場を会場に開催予定である（現時点では現地開催予定）。大会長 辰巳陽一（近畿大学病院 安全管理部 教授）、副大会長 荒井有美（北里大学病院 医療の質・安全推進室）、プログラム委員長 宮崎浩彰（関西医科大学 医療安全管理センター）、運営委員長 新田雅彦（大阪医科薬科大学病院 医療安全推進室）（いずれも敬称略）である。
- ・ 第19回学術集会（2024年度）は、荒井有美大会長の下、2024年11月29日（金）、30日（土）の2日間、横浜市（パシフィコ横浜）で開催予定である。

(2) 学術雑誌の刊行

- ・ 学術誌編集委員会が主体となって、学会誌「医療の質・安全学会誌」を年4回、学術集会抄録集を年1回発行する。既刊巻・号のJ-Stage（科学技術情報発信・流通総合システム）への掲載を行う。

(3) 医療の質・安全に係る研究の奨励

- ・ 学術委員会が主体となって、会員に対する学術活動の推進と支援に向けた活動を行う。「上原鳴尾記念研究奨励賞」の該当論文の審査を行う。学術委員会所属WGの活動支援を行う。

- (4) 医療の質・安全にかかる関連学術分野の連携の促進
- ・ 一般社団法人医療安全全国共同行動の理事団体として、医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”の設立趣旨に沿ってその活動を積極的に推進する。患者・市民参画推進委員会が主体となって、協働していく。
 - ・ 医療事故調査等関連委員会が主体となって、医療事故調査・支援センターや医療機関が行う事故調査に派遣する委員の推薦を行う。
- (5) 医療の質・安全の向上に資する教育・研修の推進と普及
- ・ 教育委員会が主体となって、医療安全管理者養成研修ならびに継続学習（アドバンスコース）を計画、開催する。
 - ・ 医療安全支援センター総合支援事業推進委員会が主体となって、支援センター職員への研修（初任者研修、スキルアップ研修、実践研修）を計画、実施、評価する。
 - ・ 患者・市民参画推進委員会が主体となって、患者経験価値（Patient Experience: PX）に関する研修会を計画、開催する。
 - ・ 医薬品・医療機器・放射線安全委員会が主体となって、医薬品安全管理、医療機器安全管理ならびに放射線安全管理に関するシンポジウム、セミナー等を計画、開催する。
- (6) 医療の質・安全に関する国際交流の推進
- ・ 国際委員会が主体となり、WHO 世界患者安全の日キャンペーンを企画、実施する。海外の安全・質に関する団体や学会等の活動を共有し、会員に情報提供する。
- (7) 医療の質・安全の向上に資する指針および提言の策定
- ・ 医療安全管理者ネットワーク委員会が主体となって、医療安全管理者ネットワーク会議を年2回開催し、そこで得られた成果物を広報、発信し、また、その効果を評価、検討する。
 - ・ 医療システム検討委員会が主体となって、「医療安全に資する医療情報システム検討WG」の活動を継続し、病院情報システムにより効果的に防止できる医療安全上に課題を特定し、その課題解決にむけてシステムに求めるべき機能を検討する。ヘルスケア領域におけるシステムの課題について検討し、必要時に、課題解決にむけた検討を行うWGを設置する。
 - ・ 施設環境委員会が主体となって、転倒転落に対して安全な環境を整備するためのガイドライン作成に向けて、後ろ向きの実地調査を、対象施設を拡大して継続実施する。
 - ・ 広報委員会が主体となって、理事長、学術集会大会長および運営委員会から提供された情報を速やかに掲示する。また、各委員会と連携し、医療の質・安全の向上に資する指針・ガイドライン等を、審議、掲示、情報発信する。

(8) その他、本学会の目的を達成するために必要な事業

- ・ 当学会の事業計画を達成して会員に還元するために、財務委員会が主体となって適正な予算管理を行う。
- ・ 収入予算の基礎となる学会会員数は 3,000 名以上、学術集会参加者は 2,500 名以上を確保することを目指す。
- ・ 医療の質・安全調査倫理審査委員会が主体となって、各委員会が本会会員に対して行う調査について倫理審査を行う。
- ・ 当学会の下記常設委員会は、本学会の目的を達成するために、それぞれの活動計画に基づき前述の内容を含め事業を遂行する。

総務委員会、財務委員会、広報委員会、患者・市民参画推進委員会、医療安全支援センター総合支援事業推進委員会、教育委員会、医療安全管理者ネットワーク委員会、学術委員会、学会誌編集委員会、国際委員会、医薬品・医療機器・放射線安全委員会、医療システム検討委員会、施設環境委員会、医療事故調査等関連委員会、医療の質・安全調査倫理審査委員会

以上

2023年度 予算

	科 目	2022年度予算 (参考)	2023年度予算
事業活動収入	(1)会費収入	28,152,320	26,279,000
	正会員web	16,000,000	15,000,000
	正会員冊子	9,600,000	9,200,000
	賛助会員(企業・団体)	1,470,000	1,500,000
	賛助会員(個人)	82,320	79,000
	前期以前正会員会費	1,000,000	500,000
	(2)事業収入 ①+②+③	101,407,000	96,900,000
	①学会誌事業収入	916,000	770,000
	学会誌年間購読費	840,000	740,000
	学会誌バックナンバー販売	60,000	30,000
	別刷販売	16,000	0
	②学術集会事業収入	60,000,000	62,000,000
	参加費収入	37,000,000	34,500,000
	懇親会	0	0
	広告関係費	1,500,000	1,500,000
	企業展示収入	0	0
	教育セミナー	15,000,000	12,000,000
	寄付金・助成金	2,000,000	2,000,000
	商業展示出展費	4,500,000	12,000,000
	雑収入		
	③研修会講習会事業収入	40,491,000	34,130,000
	医療安全支援センター総合支援事業	22,000,000	18,000,000
	医療安全管理者養成研修会	9,691,000	9,900,000
	医療安全管理者養成研修-継続学習	2,500,000	790,000
	ネットワーク会議	1,300,000	1,430,000
	患者参画推進委員会セミナー		390,000
	放射線セミナー	600,000	800,000
	医薬品セミナー		800,000
	世界患者安全の日関連行事	400,000	800,000
	国際委員会セミナー		220,000
	新規事業	4,000,000	1,000,000
	(3)雑収入	20,000	21,000
	DVD販売	15,000	15,000
	雑収入	5,000	6,000
	事業活動収入計 (1)+(2)+(3)	129,579,320	123,200,000
	(1)事業費 ①+②+③	98,360,000	89,629,200
	①学会誌事業	6,500,000	6,720,000
	学会誌製作費	4,500,000	4,300,000
	学会誌発送費	700,000	1,000,000
	原稿料	120,000	240,000
	Jstage用データ作成費	1,180,000	1,180,000
	②学術集会事業	60,970,000	62,000,000
	学術集会運営経費	60,000,000	61,070,000
	上原鳴夫記念研究奨励賞	400,000	500,000
	ベストプラクティス賞	500,000	230,000
	安全を支える技術展	70,000	200,000
	③研修会講習会事業	30,890,000	20,909,200
	医療安全支援センター総合支援事業経費	16,500,000	11,500,000
	医療安全管理者養成研修会経費	5,000,000	3,579,200
	医療安全管理者養成研修-継続学習経費	2,500,000	400,000
	ネットワーク会議経費	450,000	630,000
	患者参画推進委員会セミナー		400,000
	放射線セミナー	140,000	650,000
医薬品セミナー		650,000	
世界患者安全の日関連行事	2,300,000	1,770,000	
国際委員会セミナー		330,000	
新規事業	4,000,000	1,000,000	
(2)委員会活動事業	5,856,800	3,034,840	
総務委員会	452,160	472,000	
財務委員会	0	0	
広報委員会	150,000	0	

2023年度 予算

	科 目	2022年度予算 (参考)	2023年度予算
事業 活動 支出	学術委員会	100,000	0
	学会誌編集委員会	100,000	0
	医療事故調査等関連委員会	300,000	300,000
	国際委員会	150,000	150,000
	医薬品・医療機器・放射線安全委員会	50,000	230,000
	医療情報システム検討委員会	140,000	160,000
	教育委員会	2,300,000	426,200
	医療安全管理者ネットワーク委員会	200,000	180,000
	患者参画推進委員会	1,000,000	442,000
	医療安全支援センター総合支援事業推進委員会	100,000	100,000
	施設環境委員会	514,640	514,640
	選挙管理委員会	300,000	0
	医療の質・安全調査研究倫理審査委員会		60,000
	(3)WG活動経費	200,000	430,000
	若手育成WG		150,000
	診断改善WG		50,000
	メドレクWG		230,000
	WG活動経費	200,000	
	(4)ホームページ管理費	500,000	300,000
	(5)医療安全全国共同行動事業協力費	500,000	500,000
	(6)管理費	30,459,000	29,305,960
	給与手当	15,100,000	15,500,000
	法定福利費	1,500,000	2,500,000
	事務所賃借料	2,410,000	2,160,000
	水道光熱費	240,000	240,000
	通信運搬費	586,000	550,000
	旅費交通費	1,000,000	500,000
	会議費	1,000,000	200,000
	備品消耗品費	150,000	400,000
	事務機器リース料	189,000	33,000
	印刷費	84,000	80,000
	保管費	0	0
	カード決済手数料		1,300,000
	業務委託費	2,800,000	0
システム利用料		1,120,000	
顧問料	1,500,000	1,320,000	
租税公課	3,500,000	3,000,000	
雑費	400,000	402,960	
(7)学術集会運営基金繰入支出	0	0	
事業活動支出計 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)	135,875,800	123,200,000	
当期収支差額	-6,296,480	0	
前期繰越収支差額	106,009,633	108,841,028	
次期繰越収支差額	99,713,153	108,841,028	

一般社団法人医療の質・安全学会

2023 年度定時社員総会

役員候補者 略歴

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 安宅一晃 (あたぎ かずあき)

所 属 : 奈良県総合医療センター 救命救急センター

職名等 : センター長

【学歴・職歴等】

1988年3月 大阪市立大学 医学部卒業
1988年4月 大阪市立大学麻酔・集中治療医学教室 入局
1992年7月 大阪市立総合医療センター集中治療部 医員
2006年7月 兵庫医科大学 集中治療医学教室 病院准教授
2009年4月 大阪市立総合医療センター集中治療部 部長
2014年4月 奈良県立医科大学 医療安全推進室 病院教授
2016年4月 奈良県立病院機構 医療専門職教育研修センター 所長
奈良県総合医療センター 集中治療部 部長
2022年10月 奈良県立病院機構 医療専門職教育研修センター 所長
奈良県総合医療センター 救命救急センター センター長

【医療安全に関わる活動等】

2014年～2016年 奈良県立医科大学 医療安全推進室 病院教授
2016年～ 奈良県立医科大学 医療安全推進室 非常勤講師
2014年～ 医療の質・安全学会 代議員
2021年～ 医療の質・安全学会 理事

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 綾部 貴典 (あやべ たかのり)

所 属 : 宮崎大学医学部附属病院 医療安全管理部

職名等 : 医師、部長、教授

【学歴・職歴等】

1985. 3 宮崎県立宮崎大宮高等学校卒業

1985. 4 宮崎医科大学医学部医学科入学、1991. 3 同上卒業

1991. 6 宮崎医科大学第2外科入局 (研修医)

1993. 4 宮崎医科大学大学院医学研究科博士課程 (環境生態系) 入学

1997. 3 同上修了、医学博士 (宮崎医科大学 学位授与 博甲第167号)

2013. 5 宮崎大学医学部附属病院 医療安全管理部 副部長 (専任GRM) 任命

2014. 1 講師 (医学部附属病院第二外科) に昇任

2017. 4 准教授 (医学部附属病院 医療安全管理部) に昇任

2021. 4 宮崎大学医学部附属病院 医療安全管理部長に任命、教授 (医学部附属病院 医療安全管理部) に昇任

資格 : 呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医、がん治療認定医、日本外科学会 専門医・指導医、気管支鏡専門医、漢方専門医

【医療安全に関わる活動等】

2009. 7. 1 部署 (第二外科) のリスクマネジャー (RM) 任命 (～2010. 7. 1)

2010. 2. 1 医療安全管理部の兼任ゼネラルリスクマネジャー (GRM) (～2010. 8. 1)

2012. 5. 1 医療安全管理部の兼任ゼネラルリスクマネジャー (GRM) (～2012. 10. 31)

2013. 5. 1 医療安全管理部の兼任ゼネラルリスクマネジャー (GRM)

2013. 11. 7 平成25年度医療事故・紛争対応人材養成講座 受講 (福岡コース6日間36時間)

2014. 6 平成26年度医療安全・質向上のための相互チェック実施に伴う重点項目評価法と基準の作成等に係るワーキンググループ委員を委嘱

2017. 4 H29年度特定機能病院間相互のピアレビュー実施に伴う調査項目の評価方法と基準の作成等に係るワーキンググループ委員を委嘱

2017. 4 国立大学法人鹿児島大学病院監査委員会の委員 (委員長) を委嘱

2017. 4 国立大学附属病院医療安全管理協議会 平成29年度新幹事会構成員を委嘱

2018. 6 明日の医療の質向上をリードする医師養成プログラム (名古屋大学 ASUI SH I, 文部科学省大学改革推進等補助金 課題解決型高度医療人材養成プログラム)

2018. 7 公益財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価 評価調査者 (診療サーベイヤ (医療安全担当)、一般病院3)

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 鮎澤純子 (あゆざわじゅんこ)

所 属 : 九州大学大学院 ARO 次世代医療センター

職名等 : 特任准教授 / 病院長補佐

【学歴・職歴等】

< 略 歴 >

1983年 3月 東京理科大学薬学部薬学科卒業
1983年 4月 東京女子医科大学附属病院薬剤部入局 (研修生)
1983年 10月 順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院診療部薬剤科入局
1989年 10月 東京海上メディカルサービス株式会社入社
1992年 10月 ベスイスラエルメディカルセンター (ニューヨーク) 出向
1995年 10月 帰国、業務部課長・メディカルリスクマネジメント担当
2000年 4月 業務部メディカルリスクマネジメント室次長
2001年 4月 九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 助教授
2006年 10月 九州大学病院病院長補佐
2007年 4月 九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授
2023年 4月 九州大学病院 ARO 次世代医療センター 特任准教授、現在に至る

【医療安全に関わる活動等】

< 所属学会 >

- ・ 医療の質・安全学会 (第10回学術集会大会長)
- ・ 日本医療・病院管理学会 (第58回学術総会総会長)

< 関連する委員会委員等 >

- ・ 厚生労働省医政局「医療安全管理者の質の向上に関する検討作業部会」委員 (2006年)
- ・ 厚生労働省医政局「診療行為に関連した死亡に係る死因究明等の在り方に関する検討会」委員 (2007～2012年)
- ・ 厚生労働省医政局「医療事故に係る調査の仕組み等のあり方に関する検討部会」委員 (2012～2014年)
- ・ 日本医療機能評価機構「患者安全検討委員会」委員 (2007年～)
- ・ 医薬品医療機器総合機構「医薬品・医療機器安全使用対策検討会」委員 (2007年～)
- ・ 日本医療機能評価機構「産科医療補償制度再発防止委員会」委員 (2010年～)
- ・ 日本病院会「医療安全対策委員会」委員 (2010年～)
- ・ 日本臓器移植ネットワーク「あっせん事例評価委員会」委員 (2020年～)
- ・ 日本学術会議連携会員 (2020年～)

略 歴 書

氏 名（ふりがな）：大石 雅子（おおいし まさこ）

所 属：滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科

職名等：教授

【学歴・職歴等】

学歴

1980年3月 大阪大学薬学部製薬化学科卒業（資格／薬剤師）

2009年8月 博士（医学）大阪大学

職歴

1980年4月 大阪大学薬学部研究生

1982年4月 大阪大学医学部附属病院薬剤部 入局

2006年4月 同上 副薬剤部長

2014年4月 滋慶医療科学大学院大学 教授

2014年4月 大阪大学大学院医学研究科治療情報学講座招聘教授

2021年4月 滋慶医療科学大学大学院に組織変更 同教授 至現在

【医療安全に関わる活動等】

- ・ 大阪大学医学部附属病院薬剤部にて、注射剤無菌調製、栄養管理、医薬品情報管理、医薬品購入管理、薬剤部研修生・がん研修等の教育、研究に従事
- ・ 同上、医薬品安全担当副部長として医薬品安全管理業務全般および第5次医療法改正にかかわる医薬品安全管理体制構築に従事
- ・ 滋慶医療科学大学に移籍後は、多職種にかかわる医療安全教育・研究に従事
- ・ 1998年より日本医療薬学会所属（2001年～医療薬学指導薬剤師）
- ・ 2017年より医療の質・安全学会所属
2017年 第12回医療の質・安全学会学術集会ベストプラクティス優秀賞
2018年より代議員、2022年より代議員2期目

略 歴 書

氏 名：菊地 龍明（きくち たつあき）

所 属：横浜市立大学附属病院 医療の質・安全管理部

職名等：診療教授、医療の質・安全管理部部長、病院長補佐

【学歴・職歴等】

平成 2 年 横浜市立大学医学部卒

平成 4 年 横浜市立大学医学部麻酔科入局

大学病院・関連病院勤務

平成 16 年 横浜市立大学附属病院 手術部講師

平成 17 年 同 手術部准教授

平成 22 年 同 手術部部長

平成 23 年 国立病院機構横浜医療センター 麻酔科部長

平成 25 年 横浜市立大学附属病院 医療安全・医療管理学 准教授

同 安全管理指導者、医療安全管理室室長

平成 27 年 同 病院長補佐（兼務）

令和 2 年 同 医療安全・医療管理学 診療教授

同 医療の質・安全管理部部長

【医療安全に関わる活動等】

医療の質・安全学会 代議員、理事（医療事故調査等関連委員会担当理事）

日本手術医学会 理事、評議員、教育委員会委員

日本医療安全学会 医療安全教育・研修検討部会委員、手術医療安全部会委員

日本医療機能評価機構 患者安全推進協議会 検査・処置・手術安全部会 副部会長

日本医療機能評価機構 評価調査者

日本医療安全調査機構 調査支援医

医療安全全国共同行動 行動目標 S 技術支援部会代表委員

国立大学病院長会議常置委員会 特定機能病院間相互のピアレビュー実施に伴う調査項目

の評価方法と基準の作成等に係るワーキンググループ委員

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 北村 温美 (きたむら はるみ)

所 属 : 大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

職名等 : 医師

【学歴・職歴等】

学歴 平成 11 年 3 月 大阪大学医学部医学科卒業

平成 20 年 3 月 大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了

職歴 平成 11 年 4 月 大阪大学医学部附属病院 研修医

平成 12 年 6 月 大阪府立病院(現 大阪府立急性期・総合医療センター)医員

平成 14 年 6 月 りんくう総合医療センター市立泉佐野病院 腎臓内科医員

平成 16 年 6 月より大阪大学医学部 老年・腎臓内科学教室、大阪大学大学院医学系研究科特任助教 (老年・腎臓内科学、腎疾患統合医療学寄附講座) 等

平成 26 年 6 月 大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部助教

【医療安全に関わる活動等】

・平成 26 年より、大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部にて中島和江先生のもと、院内医療安全実務 (事例の検証、対策検討、医療安全に係る委員会運営や各種 WG、講習、教材作成等) を行うとともに、国立大学病院長会議常置委員会医療安全管理担当校として、全国 (公) 立大学病院間の相互訪問 (医療安全・質向上のための相互チェック、特定機能病院間相互のピアレビュー) の訪問調査票作成、集計・分析・評価、報告書とりまとめを実施してきた。また、医療安全に係る最新の国内外の知見を多角的に学ぶ国公立大学附属病院医療安全セミナー (同部主催、文科省後援) の企画・運営、教材作成を実施し、全国の医療安全推進に貢献してきた。

・長年の腹膜透析臨床において、患者参加、患者中心医療を主テーマとして研究、実践を継続している。なかでも、患者間のピアサポートが治療への患者参加に有用であることを腹膜透析患者を含む慢性疾患患者において見出し、国内外で発表している (International Forum on Quality and Safety in Healthcare 2019 で口演、The Resilient Health Care Society にて 2018、2019、2021、2023 年に口演、Resilient Health Care(Vol.6)に原著)。

・競争的資金を獲得し (科研費、厚労科研、AMED)、レジリエント・ヘルスケアによる医療の質向上・安全推進に資する教材作成、地域包括ケアシステムにおける peer-to-peer ネットワーク構築、薬事行政と市民の相互理解に寄与するリスクコミュニケーションに関する研究等を実施。

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 荒神 裕之 (こうじん ひろゆき)

所 属 : 山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部

職名等 : 部長、特任教授

【学歴・職歴等】

2000年3月 琉球大学医学部医学科 卒業
同年4月 聖路加国際病院 外科系レジデント
2002年4月 横浜市立港湾病院 スポーツ整形外科
2004年4月 早稲田大学大学院法務研究科入学、厚生中央病院整形外科
2008年3月 同 卒業
2009年11月 厚生中央病院 院長補佐 (医療安全管理室担当)
2013年4月 東京医科大学 公衆衛生学分野 (博士課程)
2015年4月 厚生中央病院 総合診療科 (兼任)
2019年1月 山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 特任教授
2023年4月 同附属病院 医療の質・安全管理部 部長

【医療安全に関わる活動等】

- ・ 東京地方裁判所医療専門委員
- ・ 医療の質・安全学会理事
- ・ 日本医療安全学会理事
- ・ 日本医療コンフリクト・マネジメント学会理事
- ・ 日本医療・病院管理学会評議員
- ・ 日本プライマリ・ケア連合学会代議員
- ・ 医療安全宣告共同行動 企画委員
- ・ 東京都医療安全推進協議会委員
- ・ 東京医科大学公衆衛生学分野兼任講師
- ・ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野非常勤講師
- ・ 群馬大学医学部非常勤講師
- ・ 早稲田大学教育学部非常勤講師
- ・ (公益財団法人) 日本医療機能評価機構調査評価者
- ・ (一社) 日本医療メディエーター協会シニアトレーナー

略 歴 書

氏 名（ふりがな）：小松 康宏（こまつ やすひろ）

所 属：板橋中央総合病院

職名等：副院長

【学歴・職歴等】

1984年（昭和59年） 千葉大学医学部卒業
1984年4月～1987年3月 聖路加国際病院 小児科 レジデント
1987年4月～1997年1月 東京女子医大腎センター 小児科助手
1997年2月～2017年10月 聖路加国際病院腎臓内科（98年医長、07年部長）
2011年1月～2017年10月 聖路加国際病院副院長、QIセンター長
2017年11月～2023年3月 群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学講座教授
2018年4月～2023年3月 群馬大学医学部附属病院 特任副院長（病院機能評価担当）
2010年8月 ノースカロライナ大学チャペルヒル校 公衆衛生大学院卒業 MPH取得
2023年4月 群馬大学名誉教授
2023年4月 板橋中央総合病院 副院長
1997年(H6年)12月 医学博士 東京女子医科大学（尿細管プロトンポンプの発達）

【医療安全に関わる活動等】

ノースカロライナ大学チャペルヒル校公衆衛生大学院（公衆衛生リーダーシップ専攻）でプロジェクトマネジメント、質改善、プログラム開発・評価等を学び、聖路加国際病院の医療の質・安全担当副院長、Quality Improvementセンター長を務めた。医療安全業務を担当するとともに、国際的病院機能評価機構であるJCI受審を複数回担当した。

2017年11月から群馬大学に新設された医療の質・安全学講座教授として医療の質・安全学の教育、研究を開始するとともに、群馬大学病院医療の質・安全管理部の部長として、病院全体の医療安全体制の改善・改革に取り組んできた。特に、インフォームドコンセント・プロセスの充実、共同意思決定、患者参加型医療の推進に取り組んでいる。

小児腎臓病専門医として13年間勤務した後、聖路加国際病院の腎臓内科に移り、多職種連携による包括的慢性腎臓病外来、腹膜透析外来、腎臓内科医主体の腎臓移植体制を構築した。腎臓病SDM推進協会代表幹事として、腎代替療法の選択にあたってShared decision makingのプロセスを普及すべく全国的なセミナー開催などの活動も行っている。

2023年4月からは板橋中央総合病院 総合診療内科に所属し、小児科専門医・総合内科専門医としての診療業務とともに、副院長として質・安全強化に取り組んでいる。群馬大学名誉教授・特別教授（Quality and Safety Science 担当）として、学生教育・質安全研究も継続している。

略 歴 書

氏 名：鈴木 明（すずき あきら）

所 属：国立大学法人浜松医科大学医学部附属病院医療安全管理室

職名等：特任准教授

【学歴・職歴等】

平成3年3月 浜松医科大学医学部医学科卒業
平成3年4月 浜松医科大学医学部附属病院麻酔科蘇生科 研修医
平成5年1月 富士宮市立病院麻酔科 医師
平成7年7月 浜松医科大学医学部附属病院麻酔科蘇生科 医員
平成8年1月 静岡県立こども病院麻酔科 医師
平成8年10月 浜松医科大学医学部附属病院麻酔科蘇生科 医員
平成11年11月 浜松医科大学医学部麻酔・蘇生学 助手
平成13年8月 米国ペンシルベニア大学麻酔科 客員研究員
平成15年8月 浜松医科大学医学部麻酔・蘇生学 助手復職
平成22年2月 浜松医科大学医学部附属病院集中治療部 助教
平成23年4月 浜松医科大学医学部附属病院医療安全管理室 特任講師
平成30年4月 浜松医科大学医学部附属病院医療安全管理室 特任准教授

【医療安全に関わる活動等】

医療の質・安全学会（理事）

臨床リスクマネジメント学会（理事）

日本医療安全学会（理事）

三重大学医学部附属病院 医療安全監査委員会（委員長）

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 滝沢牧子 (たきざわまきこ)

所 属 : 埼玉医科大学 総合医療センター 医療安全管理学

職名等 : 教授

【学歴・職歴等】

- 平成 7 年 群馬大学医学部卒業
東京大学医学部附属病院・国立国際医療センター内科研修医
- 平成 9 年 群馬大学血液内科入局、関連病院勤務
- 平成 15 年 群馬大学大学院医学系研究科博士課程修了(学位授与)
- 平成 16 年 米国国立衛生研究所(NIH)にて visiting fellow(4年間)
- 平成 23 年 群馬大学医学部附属病院 血液内科 助教(病院)着任
- 平成 27 年 群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 副部長着任
- 平成 29 年 同、大学院医学系研究科 医療の質・安全学 助教着任(兼任)
- 平成 29 年 大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 特任助教
(クロスアポイントメント教員、1年間)
- 令和 5 年～ 埼玉医科大学総合医療センター 医療安全管理学 教授着任

【医療安全に関わる活動等】

<医療の質・安全学会の活動>

- 令和元年～ 医療の質・安全学会 代議員
- 令和元年 第14回 医療の質・安全学会学術集会 プログラム委員長
- 令和3年～ システム検討委員会(医療安全に資する病院情報システム検討委員会)
編集委員会 委員

<委員等>

- 平成29年度～ 医療安全・質向上のための相互チェックWG委員(国立大学)
- 平成29年度～ 特定機能病院間相互のピアレビューWG委員(国立大学)
- 令和2～4年 医療安全指標プロジェクト運営WG委員(国大協)
- 令和5年～ 私立医科大学協会 医療安全連絡会議運営委員会 委員
特定機能病院における外部監査委員
医療法に基づく医療事故調査委員会外部委員(複数)

略 歴 書

氏 名（ふりがな）：飛田 伊都子（とびた いとこ）

所 属：大阪医科薬科大学 看護学部

職名等：教授

【学歴】

- ・ 1999年4月 The University of Newcastle, Australia, Faculty of Health, School of Nursing and Midwifery 卒業（看護学学士）取得
- ・ 2002年4月 The University of Sydney, Australia, Postgraduate Coursework Programs, Nursing and Midwifery 修了（看護学修士）取得
- ・ 2009年3月 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻統合保健看護科学分野 看護実践開発講座博士後期課程修了 博士（看護学）取得

【職歴】

- ・ 2003年4月 鳥取大学医学部保健学科 文部教官助手
- ・ 2008年4月 京都大学医学部人間健康科学科看護学専攻 非常勤講師
- ・ 2011年4月 滋慶医療科学大学院大学医療管理学研究科 准教授
- ・ 2018年4月 滋慶医療科学大学院大学医療管理学研究科 教授
- ・ 2022年4月 大阪医科薬科大学看護学部 教授（現在に至る）

【医療安全に関わる活動等】

看護領域の教育・研究者という立場で医療安全に関わる研究を始めて10年以上が経過しました。特に患者や医療者の安全行動に興味があり、これまで調査研究や介入研究を行ってきました。これらの研究の基盤となるのが「行動分析学」という学問です。心理学のひとつの学問領域ですが、これまでの研究を通して人の行動が思いも寄らない要因の影響を受けていることが分かり始めています。組織内で医療安全を根付かせるのは容易いことではありませんが、この学問が医療事故分析や改善策立案に役立つかもしれません。これからもこの学問を活用して医療安全の構築に寄与できる研究を行って参ります。

略 歴 書

氏 名 中村 京太 (なかむら きょうた) :

所 属 : 横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部

職名等 : 部長 診療教授

【学歴・職歴等】

1994年3月 横浜市立大学医学部医学科 卒業

2001年6月 横浜市立大学附属病院 麻酔科 助手

2005年6月 Middlemore Hospital, Department of Intensive Care Medicine, Visiting Fellow

2010年10月 横浜市立大学医学部医学科 救急医学 准教授

2016年7月 横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療安全管理学 准教授

2020年6月 大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 特任教授

2022年4月 横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部 部長 診療教授

専門医等 : 救急科専門医、集中治療専門医、麻酔科専門医、社会医学系指導医・専門医

【医療安全に関わる活動等】

医療の質・安全学会関連

2016年 第11回医療の質・安全学会学術集会 ベストプラクティス賞 最優秀賞

2018年 一般社団法人 医療の質・安全学会 代議員

2019年 第14回医療の質・安全学会学術集会 副大会長

2021年 一般社団法人 医療の質・安全学会 理事

2022年 第17回医療の質・安全学会学術集会 運営委員長

その他 医療安全に関わる委員会活動等 (現職)

日本集中治療医学会 薬事・規格・安全対策委員会 委員長

日本集中治療医学会 Rapid Response System 検討委員会 委員

日本集中治療医学会 Rapid Response System 運用指針作成ワーキンググループ リーダー

日本麻酔科学会 特定行為に関する安全性の検討ワーキンググループ メンバー

日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進事業運営委員会 委員

日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会 患者安全推進ジャーナル企画部会員

日本医療機能評価機構 医療事故防止収集等事業 総合評価部会員

医療安全全国共同行動 企画委員会 技術支援部会員

横浜市健康福祉局 横浜市病院安全管理者会議 企画部会員

略 歴 書

氏 名（ふりがな）： 原田 賢治（はらだ けんじ）

所 属： 東京農工大学 保健管理センター

職名等： 教授

【学歴・職歴等】

1987年（昭和62年）3月		東京大学医学部医学科卒業
1987年（昭和62年）4月～	1988年（昭和63年）5月	同附属病院内科研修医
1988年（昭和63年）6月～	1989年（平成1年）5月	東京厚生年金病院 内科研修医
1989年（平成1年）6月～	1991年（平成3年）3月	東京大学医学部附属病院 第三内科医員
1991年（平成3年）4月～	1992年（平成4年）3月	虎の門病院 内分泌代謝科医員
1992年（平成4年）4月～	1999年（平成11年）3月	東京大学医学部附属病院 第三内科医員
1999年（平成11年）4月～	2001年（平成13年）3月	東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科医員
2001年（平成13年）3月～	2009年（平成21年）3月	東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科助手
2001年（平成13年）4月～	2001年（平成13年）9月	文部科学省 高等教育局医学教育課 大学病院指導室専門官
2001年（平成13年）10月～	2003年（平成15年）9月	スタンフォード大学医学部内分泌代謝内科 ポストドクトラルフェロー
2003年（平成15年）10月～	2004年（平成16年）3月	東京大学医学部附属病院 医療安全管理対策室 ゼネラルリスクマネージャー
2004年（平成16年）4月～	2009年（平成21年）3月	東京大学医学部附属病院 特任講師
2004年（平成16年）4月～	2005年（平成17年）11月	東京大学医学部附属病院 医療安全管理対策室長
2005年（平成17年）12月～	2009年（平成21年）3月	東京大学医学部附属病院 医療安全対策センター長
2009年（平成21年）4月～	2013年（平成25年）5月	東京大学大学院医学系研究科 医療安全管理学講座 特任助教
2013年（平成25年）6月～	2017年（平成29年）4月	東京農工大学 保健管理センター 准教授
2017年（平成29年）5月～		東京農工大学 保健管理センター 教授

【医療安全に関わる活動等】

2003～2009年 東大病院の専任医療安全管理者、2009年～2013年 医療安全支援センター総合支援事業で自治体の支援、2012年～2016年 テルモメディカルプラネックスでシナリオシミュレーション医療安全プログラムの企画と実施、2013～2020年 医療機能評価機構の専門分析班委員、2016～2017年 日本医療安全調査機構の個別調査部会委員。現在、医療安全全国共同行動の企画委員・編集部会長として医療安全研修・月刊冊子編集等を担当。

略 歴 書

氏 名（ふりがな）：松村 泰志（まつむら やすし）

所 属：独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

職名等：院長

【学歴・職歴等】

学 歴：大阪大学医学部医学科（昭和60年卒）

大阪大学大学院医学研究科博士課程（平成元年入学）

職歴：昭和60年 4月 大阪大学医学部第一内科学教室 研究に従事

昭和60年 7月 大阪大学医学部附属病院 臨床研修医

昭和61年 7月 大阪警察病院 循環器内科医員

平成 4年10月 大阪大学助手 医学部

平成11年 5月 大阪大学助教授 医学部・医学部附属病院 医療情報副部長

平成19年 4月 国立大学法人大阪大学准教授・医学部附属病院医療情報副部長

平成22年12月 国立大学法人大阪大学教授 大学院医学系研究科 医学専攻
情報統合医学講座医療情報学・医学部附属病院医療情報部長

平成26年12月 大阪大学医学部附属病院 病院長補佐

令和 3年 4月 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 院長

【医療安全に関わる活動等】

医療の質・安全学会 理事（令和元年度・2年度）

厚労科研「医療安全に資する病院情報システムの機能を普及させるための
施策に関する研究」の研究代表者（平成30年度～令和2年度）

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 水本 一弘 (みずもと かずひろ)

所 属 : 和歌山県立医科大学附属病院

職名等 : 医療安全推進部部長

【学歴・職歴等】

1985年3月 和歌山県立医科大学医学部 卒業
1985年5月 和歌山県立医科大学附属病院診療医(麻酔科入局)
1987年7月 和歌山労災病院 麻酔科医師
1988年7月 日本赤十字社和歌山医療センター 麻酔科医師
1990年4月 和歌山県立医科大学附属病院 救急集中治療部 臨床研究医
1991年7月 和歌山県立医科大学 麻酔科学講座 助手
2001年7月 同 講師
2001年11月 米国オハイオ州クリーブランドクリニック財団麻酔科学リサーチフェロー
2003年2月 米国より帰国
2006年12月 和歌山県立医科大学附属病院 中央手術部 助教授
2009年5月 同 医療安全推進部准教授(麻酔科兼務)
2013年1月 同 医療安全推進部 部長・病院教授(麻酔科兼務)
2018年4月 同 医療安全推進部 部長(医療安全専従医師)

現在に至る

【医療安全に関わる活動等】

主な所属学会 ;

医療の質・安全学会 2008年入会、2014年～代議員、2019年～理事(現在連続3期目)

日本医療安全学会 2014年入会、2015年～代議員、2021年～理事(現在に至る)

主な活動 ;

2012年11月～ 日本医学シミュレーション学会理事 DAM (Difficult Airway Management)委員会委員長

2015年9月～ 和歌山県医療事故調査等支援団体連絡協議会委員

2018年11月 第25回日本麻酔・医事法制(リスクマネジメント)研究会会長

2019年度～ 国公立大学病院間 ピアレビュー/医療安全・質向上のための相互チェックWGメンバー

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : みやざき ひろあき
所 属 : 関西医科大学 医療安全管理センター
職名等 : 副センター長・理事長特命教授 (医療安全担当)

【学歴・職歴等】

1. 学歴

昭和 63 年 3 月 関西医科大学 卒業
平成 2 年 4 月 関西医科大学大学院 入学
平成 6 年 3 月 関西医科大学大学院博士課程単位取得後退学

2. 職歴

昭和 63 年 6 月 関西医科大学附属病院内科研修医
平成元年 4 月 関西医科大学内科学第三講座研究医員
平成 6 年 4 月 関西医科大学内科学第三講座助手
平成 18 年 1 月 関西医科大学附属病院 医療安全管理部 副部長
平成 18 年 7 月 関西医科大学内科学第三講座講師
平成 18 年 12 月 関西医科大学医療安全管理センター講師、同副センター長
平成 24 年 12 月 関西医科大学医療安全管理センター准教授
平成 27 年 10 月 関西医科大学医療安全管理センター病院教授
平成 29 年 4 月 奈良県立医科大学非常勤講師
平成 30 年 4 月 関西医科大学理事長特命教授 (医療安全担当)
令和 2 年 4 月 関西医科大学附属病院 医療安全管理部 部長
現在に至る

【医療安全に関わる活動等】

医療の質・安全学会 代議員、同学会 施設環境委員会 委員、日本医療安全学会 理事、同学会 機関誌編集委員会 委員、日本医療機能評価機構 施設・環境・設備 部会員、日本クリニカルパス学会 評議員、兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員長、日本医療安全調査機構 調査支援医 (近畿ブロック、令和 5 年 5 月から)

以上

略 歴 書

氏 名（ふりがな）：和佐 勝史（わさ まさふみ）

所 属：滋慶医療科学大学大学院

職名等：教授

【学歴・職歴等】

学歴：昭和 56 年 大阪大学医学部医学科卒

職歴：

昭和 56 年 医員（研修医）（大手前病院、大阪大学医学部附属病院）

昭和 58 年 大阪府立病院医員（消化器外科）

昭和 61 年 大阪大学医学部附属病院医員（小児外科）

平成 3 年 大阪大学医学部助手（小児外科）

平成 5 年 ハーバード大学マサチューセッツ総合病院研究員

平成 12 年 大阪大学医学部助教授（小児外科）

平成 19 年 大阪大学医学部准教授（医学科教育センター）

平成 26 年 大阪大学医学部教授（医学科教育センター）

令和 2 年 大阪大学名誉教授、滋慶医療科学大学院大学教授

現在に至る

資格：医師免許証、医学博士（大阪大学）

日本小児外科学会名誉指導医、日本外科代謝栄養学会教育指導医

専門分野：小児外科学、外科代謝・栄養学、医学教育学

【医療安全に関わる活動等】

(1) 大阪大学医学部附属病院での活動

- ・栄養サポートチーム（NST）の統括責任者として多職種連携を臨床の現場で実践
- ・NST リスクマネジャーとして、栄養管理面での医療安全を担当
- ・附属病院統括医療安全管理委員会委員として、院内の医療安全の実務を担当
- ・学部教育統括責任者として、医学部での医療安全教育の導入と実践

(2) 滋慶医療科学大学での活動

- ・医療安全、多職種連携、リスクマネジメントをテーマとした講義と修士論文の指導
- ・医療安全実践教育研究会の代表世話人として、研究会の開催と医療安全教育の実践

略 歴 書

氏 名（ふりがな）： 遠田 光子（えんた みつこ）

所 属：公益財団法人日本医療機能評価機構

職名等：教育研修事業部長

職種：看護師

【学歴・職歴等】

- 1985年 愛知医科大学看護専門学校卒業
- 2006年 放送大学教養学部卒業
- 2014年 兵庫県立大学大学院経営研究科卒業

【医療安全に関わる活動等】

- 2001年 宇都宮社会保険病院 医療安全管理者兼務（看護科長）
- 2004年 （同）医療安全管理室長（専従）
- 2011年 全国社会保険協会連合会 患者安全推進室長
- 2014年 独立行政法人地域医療機能推進機構本部 医療安全専門職
- 2015年 JCHO 新宿メディカルセンター 医療安全管理者(専従)
- 2015年 9月～日本医療機能評価機構にて
認定病院患者安全推進協議会や医療安全の教育研修に関わっている。

【外部活動】

- 2008年 日本医療メディエーター協会シニアトレーナー
- 2004年～ 医療安全管理に係る講演など
- 2016年～ 複数の認定看護管理者研修、
看護大学等で医療安全に関する講義
- 2017年～ 医療の質・安全学会 代議員
医療安全管理者ネットワーク委員会委員・
医療安全支援センター支援事業推進委員・教育委員

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 土屋 守克 (つちや もりかつ)

所 属 : 日本医療科学大学 保健医療学部 看護学科

職名等 : 准教授・看護師

【学歴・職歴等】

[学歴]

平成 10 年 3 月 埼玉医科大学附属総合医療センター看護専門学校修了

平成 18 年 9 月 明星大学人文学部心理・教育学科卒業

平成 22 年 3 月 日本大学大学院 総合社会情報研究科 人間科学専攻 博士前期課程修了
(修士 (人間科学))

令和 3 年 3 月 日本大学大学院 総合社会情報研究科 総合社会情報専攻
博士後期課程修了 (博士 (総合社会文化))

[職歴]

平成 8 年 4 月～平成 26 年 3 月 埼玉医科大学総合医療センター・看護師

平成 26 年 4 月～平成 30 年 3 月 日本医療科学大学保健医療学部看護学科・講師

平成 30 年 4 月～現在 日本医療科学大学保健医療学部看護学科・准教授

以上

【医療安全に関わる活動等】

[論文]

- ・ 程島健太, 土屋守克. (2022). 救命救急センターにおける病棟看護マニュアルの閲覧回数とインシデントレポート数との関連性の検討. 日本臨床救急医学会雑誌, 25(4), 685–693.
- ・ 程島健太, 土屋守克, 山田享介, 今大和, 石川直樹. (2018). 個人の電子機器利用による病棟マニュアル閲覧回数の変化. 医療の質・安全学会誌, 13(3), 267–274.
- ・ 土屋守克, 眞邊一近, 間藤卓. (2017). 看護師に対する生体情報モニタのアラーム回数減少のための行動的介入の効果. 医療の質・安全学会誌, 12(2), 149–158.
- ・ 土屋守克, 間藤卓. (2011). 生体情報モニタのアラームに対する看護師の反応時間についての目標設定とフィードバックの効果. 医療の質・安全学会誌, 6(3), 346–351.
- ・ 土屋守克, 間藤卓, 堤晴彦. (2009). SpO₂ プローブの正しい装着によるアラーム回数減への試み. 医療の質・安全学会誌, 4(2), 290–291.
- ・ 土屋守克, 間藤卓, 臼井美登里, 菊地弘人, 堤晴彦. (2008). 集中治療室における看護師のアラーム反応時間の要因. 日本集中治療医学会雑誌, 15(4), 563–564. ほか

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 轟 浩美 (とどろき ひろみ)

所 属 : 認定 NPO 法人 希望の会

職名等 : 理事長

【学歴・職歴等】

1986年3月 お茶の水女子大学家政学部児童学科卒

1986～2014年 学校法人学習院 (幼稚園教諭)

2015年3月～NPO 法人 希望の会副理事長

2016年8月～NPO 法人 希望の会理事長 (2017年3月より認定 NPO 法人)

※2021年6月～ 一般社団法人全国がん患者団体連合会理事

【医療安全に関わる活動等】

2017年4月～ 日本医科大学臨床研究審査委員会委員

2018年4月～ 日本医科大学中央倫理委員会委員

2023年5月～ 日本医科大学付属病院倫理委員会委員

2017年11月～2019年10月 厚生労働省がん対策推進協議会委員

2023年3月～ 東京都がん対策推進協議会委員

2022年4月～ 日本胃癌学会患者向けガイドライン委員会委員

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 中島 和江 (なかじま かずえ)
所 属 : 大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
職名等 : 教授・部長、病院長補佐、大阪大学総長補佐

【学歴】

昭和 59 年 3 月 31 日 神戸女子薬科大学薬学部薬学科 卒業
昭和 63 年 3 月 31 日 大阪大学医学部医学科 卒業
平成 8 年 3 月 31 日 大阪大学大学院医学系研究科博士課程 単位取得退学, 医学博士(大阪大学)
平成 8 年 6 月 6 日 ハーバード公衆衛生大学院医療政策学部修士課程 卒業

【職歴】

昭和 63 年 7 月 1 日 大阪大学医学部附属病院 医員 (研修医) (第二内科)
平成 元年 7 月 1 日 市立豊中病院 医員 (内科)
平成 8 年 6 月 7 日 ハーバードリスクマネジメントファンデーション損失予防部インターン
平成 12 年 8 月 1 日 大阪大学大学院医学系研究科 医学部 社会環境医学 助手
平成 13 年 3 月 1 日 大阪大学医学部附属病院 医療情報部 助手
平成 16 年 6 月 1 日 大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 助教授
平成 17 年 10 月 13 日 大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 病院教授
平成 28 年 4 月 1 日 大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 教授
平成 30 年 4 月 1 日 大阪大学医学部附属病院 病院長補佐 (女性支援・ダイバーシティ担当)
令和 2 年 4 月 1 日 独立行政法人労働者健康安全機構 理事, 大阪大学医学部招へい教授
令和 4 年 4 月 1 日 大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部
教授・部長、病院長補佐 (女性支援・ダイバーシティ担当)
令和 5 年 4 月 1 日 大阪大学総長補佐

【医療安全に関わる活動等】

【医療系大学間共用試験】平成 20~21 年度 医学系 CBT「実施小委員会ブラッシュアップ専門部会」委員
【日本学術振興会】平成 28 年 8 月~平成 29 年 7 月 「特別研究員等審査会委員及び国際事業委員会書面
審査員・書面評価員」
【国立大学病院長会議】平成 11~12 年度 「医療事故防止方策の策定に関する作業部会」委員
平成 16 年~現在 国公立大学病院「医療安全セミナー」主催 (企画・実施) (大阪大学医学部附属病院として)
平成 19 年度~現在 国立大学病院長会議「医療安全・質向上のための相互チェック」作業ワーキング委員
(令和 2 年度~3 年度除く)
平成 22~23 年度 「国立大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針」作成委員会委員
平成 27 年度 「国立大学附属病院における職業倫理、診療体制及び医療安全に関する緊急提言」作成
委員会委員
平成 29 年度~現在 国立大学病院長会議「特定機能病院間相互のピアレビュー」作業ワーキング委員
(令和 2 年度~3 年度除く)
【厚生労働省】平成 15 年 10 月 28 日 「第 2 回事故報告範囲検討委員会」 参考人
平成 18 年 1 月 「集中治療室における医療安全管理指針検討作業部会」 委員
平成 27 年 2 月 5 日 「第 5 回医療事故調査制度の施行に係る検討会」 参考人
【文部科学省】平成 22 年 8 月 5 日 「平成 22 年度第 2 回モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門
研究委員会」 <医学・歯学合同> 参考人
平成 26 年度 課題解決型高度医療人材養成プログラムペーパーレフェリー

【その他】

平成 17 年 8 月~平成 25 年 8 月 大阪府地方独立行政法人「評価委員会」委員
平成 27 年 1 月~平成 28 年 12 月 日本救急医学会「外部評価・審査委員会」委員
平成 17 年 4 月~平成 27 年 3 月 日本医療機能評価機構「患者安全検討委員会」委員
平成 25 年 4 月~現在 東日本旅客鉄道株式会社「安全のヒューマンファクター検討会」委員
平成 15 年度~現在 大阪商工会議所「次世代医療システム産業化フォーラム アドバイザリー
グループ」委員
令和 2 年 8 月~現在 Executive Committee member of the Resilient Health Care Society
令和 4 年度~現在 西日本旅客鉄道株式会社 安全研究推進委員会委員
令和 5 年 5 月~ ISQua's (International Society for Quality in Health Care) Academy of
Quality and Safety in Health Care member (for life)

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 舟越 亮寛 (ふなこし りょうかん)

所 属 : 亀田総合病院薬剤管理部

職名等 : 薬剤師、医薬品安全管理責任者

【学歴・職歴等】職歴

2000 年 4 月 社会医療法人財団互惠会 大船中央病院薬剤部入職

2006 年 同院 : 薬剤部部長・治験事務局長、医薬品安全管理責任者 (兼務)

2015 年 医療法人鉄蕉会医療管理本部 薬剤管理部 部長・治験管理センター長

医療法人鉄蕉会亀田総合病院 薬剤部 部長・医薬品安全管理責任者

学歴・研究歴

1999 年 3 月 城西大学薬学部薬学科卒業

2000 年 3 月 東京大学医学部付属病院研修生修了 (調剤学・医療薬学実地修練) (1772 号)

2009 年 4 月 東京薬科大学薬学部 臨床薬効解析学教室客員研究員 (~2013 年 3 月)

2019 年 9 月 武蔵野大学大学院 薬科学研究科薬科学専博士後期課程修了

2022 年 6 月 現在 城西国際大学 薬学部 教授 (薬学部長特命教授 (連携))

【医療安全に関わる活動等】 競争獲得研究費研究等 2023.5.30 現在 【医療安全関連】

○厚生労働科学研究費補助金 (医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)

「医療機関等におけるより高度な医療安全のためのバーコードの活用に関する研究」【代表】

○日本医療研究開発機構 (医薬品等規制調和・評価研究事業)

「医薬品開発等における安全性向上のため、医薬関係者からの副作用等情報の活用方策に関する研究」【分担】

○日本学術振興会 (科学研究費助成事業) 挑戦的研究 (萌芽)

深層学習を用いたインシデント文章分析によるプロアクティブリスク管理手法の確立【分担】

認定等 医療安全推進者 (日本医師会)、

社会活動 (2023.05.30 医療安全 : 現在就任しているもののみ)

厚生労働省 薬事・食品衛生審議会 薬事分科会医薬品等安全対策部会・安全対策調査会

医薬品医療機器総合機構 医薬品・再生医療等製品安全使用対策委員会 委員

医療の質安全学会 理事・医薬品医療機器医療放射線安全委員会 委員長

医療安全全国共同行動 企画委員会 技術支援部会委員 (代表)

日本医療安全調査機構 再発防止委員会 委員

日本病院薬剤師会 理事・医療安全対策委員会委員長

日本薬剤師会 理事 調剤業務・医療安全委員会

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 本田 靖雅 (ほんだ やすまさ)
所 属 : 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 臨床工学室
職名等 : 臨床工学技士

【学歴・職歴等】

2002年 福岡医科歯科技術専門学校(現:博多メディカル専門学校)卒業
2002年 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 入職 臨床工学室 配属
2015年 医療機器安全管理責任者 拝命
2019年 同室 主任 拝命

【医療安全に関わる活動等】

公益社団法人 日本臨床工学技士会

- ・医療安全対策委員会 委員長
- ・医療機器安全管理業務検討小委員会 オブザーバー
- ・医療機器管理検定小委員会 委員

一般社団法人 福岡県臨床工学技士会

- ・理事、事務局長

一般社団法人 日本医療機器学会

- ・MDIC(医療機器情報コミュニケーター) 育成指導者

一般社団法人 医療安全全国共同行動

- ・行動目標5a 医療機器の安全な操作と管理 シリンジ・輸液 代表委員

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 棟近 雅彦 (むねちか まさひこ)

所 属 : 早稲田大学理工学術院

職名等 : 教授

【学歴・職歴等】

学歴・職歴等

1987年 東京大学大学院工学系研究科反応化学専門課程修了, 工学博士取得

1987年 東京大学工学部反応化学科助手

1992年 早稲田大学理工学部工業経営学科(現経営システム工学科)専任講師

1999年 早稲田大学理工学部経営システム工学科教授

2007年 早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科教授 (学部名変更)

現在に至る

【医療安全に関わる活動等】

ISO/TC176(品質マネジメントと品質保証) 日本代表エキスパート

厚生労働省 医療安全対策検討会議ヒューマンエラー部会委員

(財)日本科学技術連盟「医療の質奨励賞」教育小委員会委員長

日本学術会議経営工学研究連絡委員会委員

日本医師会臨床検査鮮度管理検討委員会委員

(一社)日本品質管理学会「医療の質・安全部会」部会長

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 安井はるみ

所 属 : セコム医療システム (株)

職名等 : 担当課長

【学歴・職歴等】

<学歴>

国立療養所霧島病院附属高等看護学校卒業

青山学院大学文学部英米文学科卒業

青山学院大学大学院国際政治経済研究科国際コミュニケーション専攻修士課程終了

聖路加看護大学後期博士課程看護管理学課程、中途退学。

<職歴>

東京大学医学部附属病院

(社) 日本看護協会

聖母女子短期大学 老年看護学講師

(社) 神奈川県看護協会 医療安全対策課長

医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 看護部長

セコム医療システム (株) 企画国際部 担当部長

SAKRA WORLD HOSPITAL 品質管理部責任者 (インド・ベンガルール)

晋真会 ベリタス病院 品質管理部 医療安全管理室 室長

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会大会

医療サービス部医療人材課長、会場医療計画課長

2021年11月より、セコム医療システム (株) 運営監理部 担当課長、

看護師特定行為研修指定研修機関責任者

【医療安全に関わる活動等】

○ 2012-2014年 (公社) 日本看護協会 医療安全推進委員会 委員長

略 歴 書

氏 名： 大磯義一郎

所 属： 国立大学法人浜松医科大学医学部法学教室

職名等： 教授

【学歴・職歴等】

1999年 日本医科大学医学部卒業
1999-2004年 日本医科大学付属病院第三内科医師
2004-2007年 早稲田大学大学院法務研究科
2007-2008年 最高裁判所司法修習所司法修習生
2009-2010年 国立がんセンター知的財産管理官、研修専門官
2009- 弁護士登録（第一東京弁護士会）
2011- 帝京大学医療情報システム研究センター客員准教授
2012- 国立大学法人浜松医科大学医療法学教授（現職）
帝京大学医療情報システム研究センター客員教授
2015- 日本医科大学医療管理学客員教授

【医療安全に関わる活動等】

日本医療安全学会理事長
医療の質・安全学会理事
日本精神神経学会情報管理委員会監事
稲門法曹会理事
稲門医師会理事
稲門医学会副会長
日本整形外科学会顧問
日本専門医機構総務委員会委員
日本専門医機構倫理委員会委員
日本専門医機構共通講習委員会委員
日本専門医機構データベース検討委員会委員
日本脊椎インストゥルメンテーション学会倫理委員会委員
日本側彎症学会倫理委員会委員
日本形成外科学会倫理委員会委員
日本臨床救急医学会倫理審査委員会委員
全国医学部長病院長会議「大学病院の医療事故対策委員会」委員
日本医学教育学会「プロフェッショナリズム・行動科学委員会」委員
東京地方裁判所「医療界と法曹界の相互理解のためのシンポジウムPT」委員
厚生労働省「訪日外国人旅行者に対する医療の提供に関する検討会」構成員
東京都「外国人患者への医療等に関する協議会」委員
日本医師会「外国人医療対策委員会」委員

略 歴 書

氏 名 (ふりがな) : 松村由美 (まつむらゆみ)

所 属 : 京都大学医学部附属病院医療安全管理部

職名等 : 部長・教授

【学歴・職歴等】

学歴

1988年4月 京都大学医学部入学

1994年3月 京都大学医学部卒業

1996年4月 京都大学大学院医学研究科博士過程入学

2001年3月 京都大学大学院医学研究科博士課程修了

職歴

1994年5月 京都大学医学部皮膚科、研修医

1995年5月 田附興風会 医学研究所 北野病院 研修医 (皮膚科)

2001年4月 京都大学大学院医学研究科皮膚科医員

2001年9月 米国テキサス州立大学 ポストドクトラルフェロー

2003年4月 京都大学大学院医学研究科皮膚科助手

2010年3月 同講師

2011年6月 京都大学医学部附属病院 検査部 准教授 (医療安全管理室室長)

2015年4月 同 病院教授 (医療安全管理室室長)

2017年6月 京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授・部長

【医療安全に関わる活動等】

大学附属病院では、18年間、診療体制・業務改善のための組織横断的な整備に中心的に関わった。12年前に医療安全管理者 (専従) となり、院内の品質管理活動を通じ、安全文化を広めてきた。また、患者の意思決定支援に関わる説明同意書の作成に力を注ぎ、全診療科の説明同意書を構造的な記載様式への院内統一を図り、1000件以上の文書の新規作成、改訂を行った。患者が当該医療の有効性と必要性を理解した上で、代替法との比較検討を行い、医師の推奨する医療について納得の上で、同意または不同意できる仕組みを確立した。医療対話推進者の養成では、京都府医師会における医療対話推進者養成研修に関わっている。その他、医療事故調査・支援センターのセンター調査 (総合調査委員会委員)、京都府医療事故調査支援団体連絡協議会の担当理事として、医療の質・改善につながる適切な調査手法を広める活動している。